

第3回SD合同セミナー

SD先進事例ヒアリング報告会

2009

12/4

金

対象

南大阪地域大学コンソーシアム会員参加大学の教職員全般 100名程度

司会:大倉 孝昭 (大阪大谷大学教授)

13:30~18:30

大阪府立大学 学術交流会館

TEL 072-252-1161

南海高野線「白鷺」駅から徒歩約6分/
地下鉄御堂筋線「なかもず」駅から徒歩約13分

13:30~13:40 **開会挨拶** 寺迫 正廣 (大阪府立大学理事)

13:40~14:00 **SD先進事例ヒアリング報告 ① ~山形大学~**
報告者代表:宮谷 浩文 (プール学院大学)

14:00~15:40 **基調講演** 小田 隆治 氏 (山形大学教授)

「山形大学の企画・実施型SDと大学間連携SD」

【講師紹介】

山形大学地域教育文化学部教授。高等教育研究企画センター・企画マネジメント部門長。筑波大学大学院博士課程生物科学研究科修了(理学博士)。北里大学医学部助手、山形大学教養部助教授を経て、2003年より現職。大学間連携組織「FDネットワークつばさ」議長、「エリアキャンパスもがみ」運営委員を兼務。専門は、生物学、大学教育改革。

【講演概要】

山形大学は平成15年以来、ユニークな企画・実施型のSD(スタッフ・ディベロプメント)を実施してきた。演者はこの一連のSDを企画し采配してきた。平成15年は大学を活性化するための具体的なプランをまとめてもらい、それを学長裁量経費を使って現実のものにした。その中には地方大学としては立派な「インフォメーションセンター」がある。平成16・17年は3人一組となって県内の市町村役場にでかけ、そこで地域連携のプロジェクトを立ち上げてもらい、それを実施に移した。こうして、山形大学は事務職員の手によって地域連携が活発な大学の一員となった。平成18・19年はSD本を出版した。平成20年からは立命館大学との包括的協力協定により、学生のみならず事務職員の交流が活発になった。本年は、東日本の41大学等が連携する「FDネットワークつばさ」が主催した「大学間連携SD」で、ビデオ版「あっとおどろく大学事務NG集」を制作した。本講演は、これまでの山形大学のSDの概要を紹介し、これからの大学事務職員のあり方とSDの未来を参加者の皆様と一緒に考えたい。「大学事務NG集」の上映も行う予定である。どうぞ期待。

15:50~16:20 **SD先進事例ヒアリング報告 ② ~桜美林大学~**
報告者代表:石川 実 (大阪大谷大学)

16:20~16:50 **SD先進事例ヒアリング報告 ③ ~立命館大学~**
報告者代表:宮崎 和世 (大阪府立大学)

16:50~17:20 **SD先進事例ヒアリング報告 ④ ~松本大学~**
報告者代表:清水 明男 (羽衣国際大学)

17:30~18:30 **情報交換会** 会費:1500円



文部科学省 平成20年度戦略的大学連携支援事業選定プロジェクト
実践力のある地域人材の輩出~大学連携キャリアセンターを核にして~

桃山学院大学・大阪府立大学・大阪大谷大学・帝塚山学院大学・羽衣国際大学・プール学院大学

大学連携取組事務局 〒591-8025 堺市北区長曾根町130-42 さかい新事業創造センター1F

南大阪地域大学コンソーシアム事務局内

TEL: 072-258-7646 FAX: 072-258-7641 Email: renkei@osaka-unicon.org

http://www.renkei-osaka.jp/